



## ご卒業おめでとうございます

中学校の思い出を胸に4月からそれぞれの道へ進む友に「ありがとう、さようなら」

今年度の「進路だより」の第1号は4月11日に発行されていて、そのタイトルが次のようなものだったのですが、覚えていますか？ → **中学校卒業後の進路を考える ～ 初めての人生の選択**

同号には、「小学校から中学校までは自動的に歩んできた道でしたが、中学校卒業後の進路では同じ道を進む人はいません。自分の選んだ道が、そのまま自分の人生になります。だから『進路を選択する』ということは単に高校を選ぶことだけを意味してはいません。」そして「進路を最終的に決めるのは自分自身ですが、決定する前に周りの人の意見をよく聞くべきです。」とかかれていました。卒業をむかえた今、振り返ってみてどうでしょうか。周りの人の意見をよく聞いて、自分で判断して、自分の進路を選択すること(=人生の選択)がしっかりとできたでしょうか？

実際にこの1年間は、みなさん自身にとっても保護者の方々にとっても、「進路選択」がやはり重大な関心事であり、プレッシャーでもあっただろうと思います。常に「進路」ということばに追いつてられているような気持ちを持ちながらも、なんとか乗り越えて今日の卒業式をむかえることができたみなさんは、きっと大きく成長しているに違いありません。見方を変えれば、これを乗り越えてきたみなさんだからこそ、卒業を認めてもらったのだともいえるかもしれません。



さて、ずっと同じような環境で育ってきたみなさんも、4月からはそれぞれ異なる方向へ進んでいくこととなります。互いに支え合い、助け合いながら頑張ってきた仲間とも今日でお別れです。これまでの愛あふれる行動に感謝し合い、次の目標に向かって努力していくことを互いに約束合せて、最後に「ありがとう、さようなら」のあいさつを交わしつつ厚別中学校を巣立って行ってほしいと思います。

### 17日(火)の合格発表について

進路だより 49・50号でお知らせした通り、公立高校を一般受検しているみなさんは、17日(火)10:00の合格発表

を家で確認してください。その後、合格だった場合は11:00~11:15に中学校に(意思確認の登校をする)ことになっています。入学辞退する人は「入学辞退届」を提出しなければいけません。(上靴はいりません。玄関先で確認します。)不合格だった場合は、12:00に中学校に(意思確認の)登校することになっています。追加合格を待つのか待たないのか、2次募集を希望するのか、担任の先生と相談しなければなりません。それ以外の相談や2次募集の手続きなど、まだまだ進路先決定に向けて取り組みがある場合もあります。心配なことやわからないことなどはそのままにしておかないで進路係に連絡してください。

- ▼17日の「意思確認の登校」の際は、他学年は授業中ですので迷惑をかけないようにお願いします。もちろん『制服登校』です。意思の確認を終えたら、ただちに帰宅してください。
- ▼関係のない生徒(登校する必要がない生徒)は登校しないで下さい。他人の結果や手続きなどについて冷やかすかのような行動はやめてください。
- ▼17日以降にも登校する場合は、3月中はやはり『制服登校』です。ただし、25日(水)の離任式には、卒業生の登校は認められていません。ご理解ください。
- ▼4月以降も、来校時は「必ず事前に電話連絡をして、約束をしてから」がマナーです。

卒業式は終わりではなくて自分で創る人生の始まりです。

3/31までは厚別中学校の生徒です。誇り・自覚を忘れず。

# I have a dream. How about you?

## 私には夢がある

キング牧師が生きた時代は、黒人にとって生きていくことはとてもつらく厳しい時代でした。それでもキング牧師は夢を持ち続け、あきらめませんでした。今は豊かな時代です。しかし、この時代に生きている私たちは夢を持っているのでしょうか。さて、みなさんはどうですか。

今日、みなさんは3年間の中学校生活を終えようとしています。人生という長さで考えると、3年という期間はとても短いですが、その重要性を考えると、この3年間はとても重い意味をもちます。卒業するみなさんに聞きたいと思います。 I have a dream. How about you?



### キング牧師(1929~68)

アメリカの公民権運動の指導者で、人種差別に非暴力で抵抗した牧師。1963年8月に公民権運動の歴史に残るワシントン大行進を率い、「私には夢がある」という有名な演説を行った。翌年、ノーベル平和賞が授与される。

1968年4月、テネシー州メンフィスで黒人労働者の争議を支援中、凶弾に倒れた。アトランタで行われた葬儀には10万人が参列した。

I have a dream

that one day on the red hills of Georgia  
the sons of former slaves  
and the sons of former slave owners  
will be able to sit down together  
at the table of brotherhood.

私には夢がある

いつの日にか、ジョージアの赤土の丘の上で  
かつて奴隷であった者たちの子孫と  
かつて奴隷主であった者たちの子孫が  
いっしょに腰かけることができ  
兄弟として同じテーブルに向かい合う、という夢が

I have a dream

that my four little children  
will one day live in a nation  
where they will not be judged  
by the color of their skin  
but by the content of their character.

私には夢がある

私の4人の幼い子どもたちが  
いつの日にか、理想の国に住み  
その国で評価されるのは  
肌の色ではなく  
人となりそのものである、という夢が

I have a dream today!

私には今夢がある

保護者のみなさまへ

1年間この「進路便り」に目を通していただき、迅速な進路事務へのご協力ありがとうございました。  
生徒たちが自分で選んだ進路先で、活躍することを願っております。

進路係